



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2024年
(令和6年) 1月号
NO. 197

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8
ベネックスS-3 4階
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213
MAIL: info@suishinkyo.net

- 新年挨拶 役員 <2面>
- 新年挨拶 支部長 <3面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <4面>
- 第3回 理事会 <4面>
- ズバリ回答! 人事・労務のお悩み <4面>
- 事務局から <4面>

新春対談

認知症基本法「元年」 最後まで自分らしく暮らせる社会作り

町亞聖さん「ちよっとしたおせっかい精神を」 赤枝会長「地域とつながる介護施設の役割」



東京・六本木の「国際文化会館」庭園で

赤枝 「幸齢社会」実現会議の議長は岸田首相が務めました。

町 総理に思いを伝えられる貴重な場でしたので、かなり言いたいことを言いました。認知症対策は「生きる」を支える、人生を支える政策なので、経済政策などと小さく捉えてもらっては困るということを直接言いました。例えば認知症になっても、特に若年性認知症の人は働けるし働きたいと思っ

ている。その思いをかなえる環境作りが必要だと。そういう話も総理は熱心に聞いてくれました。

赤枝 「聞く力」を發揮されたということですか(笑)。

町 そうですね(笑)。そもそも認知症対策の会議を開こうと思えてくれた首相は初めてだと思います。会議でも一つ取り上げたのは年間10万人の介護離職が止まらない問題です。その8割が女性ですが、これからは50代の男性管理職でもキャリアを諦めざるを得ない現実に向き合っていく。男性の問題なんだという意識を持ってくださいと話しました。

にはまた春闘で民間企業の賃上げが行われます。しかし介護業界にはそのための財源は用意されていませんし、報酬改定は終わってばかりです。毎年の賃上げに介護保険制度はどう対応していくのか、これが今後の最大の課題です。我々の対応も強化していきたいと思っています。

また、当会は令和7年に創立20周年を迎えます。これを機にしっかりとユニットケアの質の向上を図り、次の20年に繋げていく、今年はそのような充実の年にしたいと考えています。会員の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町さん、日テレのアナウンサーとして最前線で活躍されながら、一方でお母様の介護を長くされました。苦労もあつたのでは。高3の時に母が40歳で倒れました。母が障害を持ったことで社会福祉を自分のテーマにしようと思ったので、会社にもオープンにしてみました。一部の上司から理解が得られなかったのは事実ですが、逆にその偏見を変えたいと思いました。それで伝え手になりました。介護を語るのが当たり前前の社会にしたいと思っています。

赤枝 ご自身がヤングケアラーでいらっしやいました。

町 当時は介護保険もなく、介護は家族がするのが当然でした。なぜ私が?とも考えなかった。ただヤングケアラーの一番の問題は教育の機会を奪われることです。さらによくあるのは、我が家のように親が若くして障害を負ったり、兄弟に病気や障害があるケース、シングルマザーの家庭は高齢者介護ではないのでヘルパーが入らない。

赤枝 制度のはざまに落ち込んでいますね。

町 そこで「地域包括ケア」が重要になってくるんです。医療と介護をはじめ多職種連携のノウハウはヤングケアラー対策に生かせるはずなんです。皆がアンテナを張っていると「あれ?」という気づきが生まれます。そのことは認知症対策でも同じで、例えば万引きを繰り返す高齢者の場合、認知症の症状として表れている可能性がります。その知識があれば単に警察に通報するのは違う対応が取れます。地域の問題を皆で考えていく。ちよっとしたおせっかいを焼いてほしいなと思います。

赤枝 介護施設は地域包括ケアの重要なプレーヤーの一つです。

町 子ども食堂を開いている施設も多くありますね。

赤枝 社会福祉法人ももっと地域に出ていって存在感を發揮していくべきだと思っています。私たち個室ユニット型の特別養護老人ホームなどを会員とする事業者団

体です。全国にある会員施設で、さまざまなサービスを提供しています。ぜひ町さんにご訪問いただいて、実際にご覧いただきたいのですが、いかがでしょうか。

町 もちろんです。普段から介護施設に呼んでいただけて講演をする機会も多いですよ。特に地方では依然として親や家族を「施設に入れてしまった」と自分を責めてしまう人は少なくない。私は介護に行き詰まって鬼の形相で家族に接するより、プロに任せて心穏やかに過ごせるほうがいい、後悔することはないと考えています。

赤枝 入居者やご家族に後悔をさせない、安心していただくのが私たちの仕事だと思っています。最後に地域で暮らす人々の生活を支える介護業界で働く皆さんへのエールをいただけますでしょうか。

町 介護の魅力を発信するお手伝いを長年していますが、本当にこの仕事は魅力だらけなんです。工夫次第で一人一人の人生を彩り、「したい」をかなえられるクリエイティブな仕事です。ぜひ自信を持ち、この介護職に出会ってよかったと思ってもらえる人財になってください。応援しています。

〈対談を終えて〉 赤枝真希子 大変気さくな方。洋服の色がかったのが逆に打ち解けました。福祉分野の現状を伝えることが自身の使命との信念がうかがえました。十代から大変な介護体験も大きな動機でしょう。全国各地でも訪問し、視察だけでなくミニ講演も可能とのこと。皆様も施設にお招きし、ご講演又は対談等をお願いし、一層の啓発をされてはいいかなと思います。

〈事務局より〉 町さんへのご依頼があれば事務局にご相談ください。推進協ニュースとのコラボも可能です。

1995年、日本テレビにアナウンサー職で入社。報道局記者としても活躍し、2011年にフリー。脳障害を負った母親の介護を18歳から担い、「二元ヤングケアラー」を自任。医療と介護を生業のテーマに取材、啓発活動続ける。著書に「十年介護」(小学館文庫)など

新年のご挨拶 会長 赤枝真紀子 兼 愛会 理事長



新年あけましておめでとうございます。令和6年の年頭にあたり、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。また、年末年始も入居者や利用者のために休みなく働いていらっしゃる介護事業所の皆様に、改めて敬意を表し感謝申し上げます。

さて、一昨年以來、世界情勢は緊迫の度を強めておりますが、こうした状況は我が国の社会経済にも大変大きな影響を及ぼしています。介護業界も例外ではなく、燃料費や電気代、

石油製品の値上がりなどにより経営を圧迫し続けています。年末の介護報酬改定は、介護業界としては、安心できる内容とはなりません。また、大きな課題も残されたままです。

岸田総理は経済の好循環により賃上げを実現すると言われており、介護業界もこれに追随すべきですが、経済成長のほばない時代に創られた介護保険制度には、物価運動で介護報酬を引き上げていくという仕組みが作り込まれていません。今回の介護報酬改定は、昨年の賃上げに遅ればせながら並ぼうとするものですが、本年4月

有識者として参加されましたね。4年半在籍し、報道局記者として10年間、厚生省中心に取材をしました。認知症であってもできることはたくさんある。当事者の家族や支援者の声を聞き、情報を積み重ねてきました。フリーになってからは認知症とうつ病をテーマにしたラジオ番組も続けています。これまでやってきたことが認められてきたのかなと感じています。

新年あけましておめでとうございます。令和6年の年頭にあたり、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。また、年末年始も入居者や利用者のために休みなく働いていらっしゃる介護事業所の皆様に、改めて敬意を表し感謝申し上げます。

また、当会は令和7年に創立20周年を迎えます。これを機にしっかりとユニットケアの質の向上を図り、次の20年に繋げていく、今年はそのような充実の年にしたいと考えています。会員の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、当会は令和7年に創立20周年を迎えます。これを機にしっかりとユニットケアの質の向上を図り、次の20年に繋げていく、今年はそのような充実の年にしたいと考えています。会員の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、当会は令和7年に創立20周年を迎えます。これを機にしっかりとユニットケアの質の向上を図り、次の20年に繋げていく、今年はそのような充実の年にしたいと考えています。会員の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年



副会長 高木邦格
(国際医療福祉大学 理事長)

明けましておめでとうございます。昨年は、日常生活に少しずつ活気が戻った1年でございました。皆様におかれましては、お健やかに過ごされたことと拝察いたします。

昨今の報道にもありますように、介護福祉士を養成する学校では日本人学生が集まらず、若者を中心に介護職離れがますます深刻化している現状があります。また、一昨年来続くロシアのウクライナ侵攻に加え、昨年はイスラエル・パレスチナの紛争も激化するなど、不安定な世界情勢に伴い水道光熱費や物価が高騰するといった新たな問題も起きており、介護業界にとっては忍耐が強いられる日々が続いております。

このような厳しい状況において、思い切った人材政策を実現することで、介護事業の永続性を今後も担保するには、思い切った人材政策を行わなければ、遅きに失するのではないかと憂慮しております。日頃より、全国個室ユニット型施設推進協議会の運営に十分に貢献できず大変申し訳なく思っておりますが、6年に1度の診療報酬・介護報酬・生涯福祉報酬の同時改定期にあたる本年も業界動向には引き続き注視してまいりたいと思っております。

辰年にあやかり、新しい年が上へ上へと天高くのぼる竜のように躍進するともに、皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



副会長 安江紀子
(幸紀会 理事長)

明けましておめでとうございます。ここ数年混沌としたコロナ禍の中、心の安らぎを得られない日々でございました。こんな中でも入居者のため懸命にがんばっている職員達には感謝すらおぼえる事、度々でした。

今年こそ安心して皆様がお暮しいただける日常が戻って参りますこと、年頭にあたり、心たすら念じております。今年は当会での実務者研修も全国的な展開となりますよう受講できる方々にとりましては、身近で受講できる充実した日々であろうと存じます。赤枝会長のもと、本年も推進協の更なる発展を念じ、皆様と一緒に努力して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



副会長 田伏清
(バルツァ事業会 理事長)

謹賀新年 おめでとうございます。昨年5月にコロナ5類となって以降私たちの業界は職種柄なかなか安堵の日々が訪れているとは言えない状況ではあります。会員様施設におかれましても様々にご苦労されている事と拝察致すところでございます。

本年は、全国支部長会代表も承っております事から、より人材確保に関する情報や地域による人材状況の差異・人材会社の情報等を赤枝会長のもと発信できればと考えております。会員の皆様のご健康・ご多幸を願いつつ、本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます！



副会長 稲庭千弥子
(友遊会 理事長)

新春のお慶びを申し上げます。推進協のお力添えで、介護大学分校として久幸会グループ3か所が、昨年は名乗りを上げることが出来ました。とても嬉しく、介護人材育成が見えてきたように思い新年度を迎えています。

医療福祉業界では専門職育成・採用が大きな課題であり、推進協の役割はとて大さきと感じています。令和6年は介護報酬改定の年、皆さんは如何ですか？大幅昇給を謳いながら、社会保障費関連がそれに見合う内容になっていくかという点であり、医療福祉が不景気産業と言われる所です。基本報酬が無理でも加算へ、あるいは基準や指導内容を緩徐に。日本が平和で、視界が少しでも開ける年になりますよう祈念いたします。

令和6年度も赤枝真紀子会長のもと、宜しくお願い申し上げます。



介護保険委員長 藤村二郎
(久住会 理事長)

あけましておめでとうございます。早速ですが、今年介護報酬改定がなされる年であります。私の記憶では、介護保険制度が始まって以来の急激な物価高騰や賃金上昇はなかったと思えます。社会保障制度におけるサービス単価は、公定価格が設定されており、施設の経営環境の変化などに対応した報酬設定がなされる仕組みとなっておりますが、今日の様な急激な変化には以前の様な見直しのスキームは対応しきれないとの感想を持っています。それは過去の分析は過去のもので今日を反映していかないからであります。仕組みを作る時にここまでの変化を想定しきれなかったと思えます。であれば、最後は政治の決断によって決定する以外ないと思えます。地域社会における介護サービスは社会基盤でもあり、要と考えています。社会が少しでも良くなり、介護離職0は経済界にとっても重要です。介護離職0は経済界にとっても重要です。介護離職0は経済界にとっても重要です。

張っていききたいと思っております。今年一年よろしくお願ひいたします。



総務企画広報委員長 佐々木亀一郎
(元気村 常任理事)

明けましておめでとうございます。旧年中は当委員会の活動にご協力を賜り心より感謝申し上げます。また、「個室ユニット型施設推進政治連盟」におきましても多大なご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。本年は介護報酬の改定の年度を迎え、国内では災害ともいえる異常気象、そして人口減少、加えて世界的な社会情勢など取り巻く環境の厳しさは国力の縮小を目の前に避けては通ることのできない起点の年となると思っております。その中においても推進協の活動としては会員の皆様と共にご利用の皆様はじめ次世代仲間たちの明るい未来のために新たな施設経営のスタートとする誓いをする年としなければなりませんと思えます。本年も会長を中心に皆様と共にしっかりと歩む所存でございますので当委員会及び政治連盟に変わらぬご理解、ご指導賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



研修委員長 栗田淳二
(南風会 理事長)

昨年は、皆様の協力のもと、多くの新しいプログラムと研修が実施されました。これにより、会員施設職員の皆様が更にスキルを高める機会を得られたことを大変嬉しく思います。知識の向上は施設運営、ひいては可視化された介護サービスの質においても非常に重要です。今年もその流れを継続し、更なる質の高いサービスを提供できるよう努力して参りましょう。

施設業務においては、人手不足から業務効率化と生産性向上が一つの大きなキーワードにもなっています。新しいテクノロジーの導入や業務プロセスの見直しにより、よりスムーズかつ効率的な運営を目指す必要がある、一方で、介護保険給付においては相反する動きがあります。それでも充実した業務に専念できる環境を作ることから逃げることはできないのが現状です。新年が始まるこの機会に、皆様のご協力と支援に心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2024年



(敬称略、順不同)

北海道支部長 今 千尋
(函館大庚会 理事長)



今年には医・介・障の報酬同時改定を迎えます。地域での関係機関との横の連携を深めるとともに、個室ユニット型施設に適切な報酬評価がなされるよう推進協の皆様と一丸となって働きかけを進めてまいりたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

岩手支部長 山崎和彦
(成仁会 理事長)



「自分らしく特養でも暮らせる」つまりは『尊厳あるケア』こそが私の原点として40年以上福祉に邁進してきました。ユニットケアこそが、福祉業界を改革し、飛躍させることが出来る唯一の手法と考えます。本年もよろしくお願ひいたします。

宮城支部長 阿部仁美
(秋の里 理事長)



昨年9月より、ようやくユニットリーダー研修を再開できました。また、地域の社会福祉法人と連携し、災害協定や人材確保、地域貢献事業等への取り組みを始めています。遅れていたICT化を進めながら、ユニットケアの向上と推進に取り組んでまいります。

千葉支部長 西慶二
(明恩苑 施設長)



制限されていた暮らしや施設運営も通常にもどりつつあります。今年にはトリプル改定という変化の年となり、人材不足、物価高騰と目の前の課題は山積みですが、常に前を向いて質の高いケアを追求し長い人生の最終章を自分らしく、その方らしく

過ごしていただくことを大切に日々努めて参ります。

東京都支部長 安藤高夫
(永生会 理事長)



今年、地域包括ケアシステム構築の目途とされる2025年にむけての最後のトリプル改定の年になります。高齢者のウェルビーイングを実現していくためには、個室ユニットケアは非常に重要です。会員の皆さまとともに、個室ユニットケアの良さを広めていければと思っております。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新潟支部長 田中晋
(食園三吉老人福祉会 理事長)



昨年の9月から新潟支部長を拝命いたしました。推進協の今後の発展に尽力して参ります。今年は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービスなどの報酬改定となります。介護保険事業を取り巻く社会情勢は厳しく施設経営や人材確保など諸問題に対して県内会員施設と情報を共有し、サービスのさらなる向上を図れるよう取り組んでいきたいと思ひます。

長野支部長 松原由紀美
(グレイスフル箕輪 施設長)



昨年4月より長野支部長を拝命いたしました。施設においては少しずつコロナ禍前の様子となっております。人材不足や物価高騰などの課題はありますが、ユニット型施設の良さを活かして、ケアの質の向上、働きやすい職場環境づくりなど取り組んでまいります。

岐阜支部長 高井澄恵
(社会福祉法人桜友会 理事長)



これまでコロナにより活動が制限されてきましたが今年には支部全体での意見交換会などの機会が持てれば良いと思ひます。高齢化社会に変わりはありませぬが更に人口減少が福祉分野においても大きく影響してきています。会員連携のもと課題に対応していきたいと思ひます。

静岡支部長 大杉和也
(梅香の里 施設長)



令和5年途中より支部長を拝命致しました。本年はコロナ禍以前の活動に戻る事が出来るよう、より大きく変化をする年になります。コロナ禍は過酷でしたが感染予防に対する知識、技術を向上できた側面があります。本年は「繋がり」を大切にユニットケアの理念である「その人らしい生活」を支援できるように邁進してまいります。

愛知支部長 若月剛治
(あさひが丘 施設長)



防衛費予算確保のために社会保障費が削減されるとの見込みは立ち消えになったようですが、最近の関心事は、先を見据えて大号令がかかっている効率化推進の行方です。人の確保が容易でない現状において、効率化を進めながらも、如何にして私たちのアイデンティティを確保していただけるのか、会員の皆様と共に取り組んでいきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

三重支部長 岩名真臣
(ゆう 施設長)

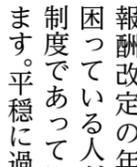
令和5年に支部長を拝命致しました。昨今わが国では物価上昇や人材不足など厳しい状況が

続いておりま



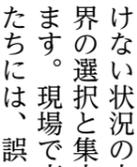
す。また、トリプル改正の年でもありますが、ユニットケアの重要性を伝え続けていきながら選ばれる職場づくりに取り組んで参りますので皆様宜しくお願ひ致します。

和歌山支部長 永山間夕美
(緑風苑 施設長)



コロナも5類に移行され、やっとなら生活を取り戻しつつあります。今年は介護報酬改定の年であり、介護に困っている人が頼れる介護保険制度であってほしいと願っています。平穩に過ごせますように。

鳥取支部長 田中彰
(賛幸会 理事長)



2024年新年にむけて。本年の介護保険第9期改定に当たり、介護保険を取り巻く状況はますます厳しくなりました。介護保険開始時の国の約束は果たして果たされるのか、高齢化社会の進行に政治がついて行けない状況の中で、今後介護業界の選択と集中が求められています。現場で高齢者を抱える私たちに、誤った判断は許されません。推進協を中心に情報を分析し方針を誤らないよう歩んでいきたいと思います。

島根支部長 昌杉原建
(昌林会 理事長)



令和6年度はトリプル改定となり、地域包括ケアシステムのさらなる推進、医療・介護・障害サービスの連携、DXのより一層の推進が重要と考えます。その過程においても、療養環境が充実したユニットケアの強みを活かして、取り組んで参りたいと思ひます。

山口支部長 江澤和彦
(博愛会 理事長)



令和6年度診療・介護・障害福祉サービス等報酬同時改定は2040年を見据え、今後の社会保障に大きく影響を及ぼす分水嶺となります。労働人口が減少する中、質の高いユニットケアの提供の在り方について、皆様と共に考えて参りたいと思ひます。

徳島支部長 武久洋三
(平成記念会 理事長)



どう考えてみても国民は普段健康な時に1人1部屋で生活しているのに、病気になるって病院や施設に入ると何故か4、6人部屋に入れられます。こんな環境の悪い部屋では、病気が治りませんよね。正に推進協の存在は大変重要です。

高知支部長 内田泰史
(ふるさと会 理事長)



「晴れた日は晴れを愛し、雨の日は雨を愛す、楽しみあるところに楽しむ」「楽しみなぎと何の人生ぞや」「宮本武蔵」の作家、吉川英治氏の言葉です。このように考え、日々の生活を創造的にしてみると良いと思ひます。そして、自然と交わり、自然に学び、自然を味方につけましょう。人生を大きく変える力が出てくるでしょう。

福岡支部長 牟田和男
(誠和会 理事長)



2024年度の介護報酬改定では大幅な処遇改善が必要であり、介護人材の確保と定着が喫緊の課題であります。物価高騰や経済情勢の変化による影響が

続くなか、施設の老朽化や採算性等の様々な問題に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

佐賀支部長 藤崎和子
(シルバーケア吉野ケ里 施設長)



ユニットリーダー実地研修が再開し、研修の機会が増えてきた今、職員が職務分掌に対する意識が高まってきたと思ひます。研修を通じて外部からの刺激を受けて逆に学ぶことも多く、外国人の人材確保も出て来て職員も落ち着いてきたところです。

長崎支部長 上田かな
(樹陽会 理事長)



昨年はコロナ5類となり、少しずつですが以前のような生活様式に戻ってきた1年でした。直接対面での面会が出来、各種行事も少しずつ実施する事が出来、入居者の方からも家族の方からも「笑顔」が引き出された1年でした。「あたりまえの日常」がこんなにも大事なものだと思ひながら感じる事が出来ました。暮らしの中に「喜び」を少しでも感じてもらえる様にユニットケアを今後も推進してまいります。

鹿児島支部長 川島葉留美
(愛人会 副理事長)



ロシア、ウクライナ戦争に加えて、パレスチナ問題が起これり、国際問題が社会を、医療福祉業界を直撃し続けています。当施設は新たに九人の外国人職員を迎えました。高齢者が安心してその人らしく過ごせる個室ユニット型施設の基盤を守り普及すべくリーダー研修施設として職員一丸となって研鑽に励む所存です。



介護「ユース・ダイジェスト

11月26日
12月18日

■多床室の室料負担は24年度予算編成で検討(12月11日)

老健と介護医療院の多床室の室料負担について、同日の介護給付費分科会で示された審議報告案では「これまでの分科会での意見等を踏まえ、予算編成過程において検討する」と記述した。同分科会では反対論が多く出され、明確な意見集約に至らなかった。

■介護などの歳出改革で1・1兆円を少子化対策に(12月11日)

政府のことも未来戦略会議は同日示した「ことも未来戦略」案で子育て政策の強化に向けた財源の基本骨格を明らかにした。医療・介護制度の歳出改革により、28年度までに公費削減効果で1兆1000億円程度の確保を図る。

■推進協 実地研修施設募集説明会開催(12月12日)

今年2回目の説明会。全国から20施設以上が参加。最近実地研修施設になった施設の取組や実地研修施設の要件、実地研修施設になるために施設が取り組むポイントを解説した。

■岸田首相 24年秋の健康保険証廃止は変わらず(12月12日)

政府のマイナンバー情報総点検本部に出席。総点検完了のめどが立ったことが確認できたとして、「法令に基づき、予定通り、現行の健康保険証の発行を来年秋に終了し、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行する」と表明した。

■中医協 レカネマブの保険適用を承認(12月13日)

アルツハイマー病の治療薬レカネマブ(商品名レケンビ)の薬価を承認した。保険適用の対象となる。エーザイは同日、レカネマブの販売を12月20日に始めると発表した。

■顔認証マイナカードを導入(12月15日)

暗証番号の設定が不要なマイナンバーカードの導入が始まった。番号の扱いに不安がある認知症の人などがカードを使えたり、代理交付を行う高齢者施設の負担軽減につながることを目的とされる。

■東京都 要介護度の改善などに最大40万円の報奨金(12月15日)

ADL(日常生活動作)や要介護度の維持・改善に役立つ取り組みを行った介護事業者に対して最大で40万円を支給する都独自の制度(要介護度等改善促進事業)について、申請を扱う審査事務局を開設した。対象は通所介護、認知症デイ、特養、有料老人ホームなどで、申請は1月31日まで。報奨金の交付は4月に行われる。

■介護給付費分科会 審議報告をとりまとめ(12月18日)

24年度の介護報酬改定に向けた論議をまとめた「審議報告」案を了承した。11日に示された原案に修正案を施した。特養など施設系サービスではユニットケア施設管理者研修の努力義務化、ユニット間の勤務体制に係る取り扱いの明確化(2ユニット一体運用)などが明記された。

■実地研修施設の複数化を「今後の課題」に(12月18日)

介護給付費分科会は同日とりまとめた審議報告で、次期介護報酬改定(27年度)までに検討を進めるべき事項を「今後の課題」として挙げた。ユニットリーダー研修実地研修を複数の実施団体に委託できることを都道府県に周知することが盛り込まれた。



24年度新規事業などを説明

推進協 第3回理事会

推進協は12月14日、23年度第3回理事会をオンライン方式で開いた。冒頭、赤枝眞紀子会長があいさつし、山場を迎えた介護報酬改定の動きに言及。「介護事業経営実態調査で個室ユニット型施設の収支差率(黒字率)が1・0%で3年前の2・6%から下落し、安定経営は到底困難だ。補正予算で介護職員の処遇改善が図られたが、次の春闘で民間企業の賃金がさらに上がることを考えれば不十分。国への働きかけを進めていきたい」と述べた。また介護給付費分科会の審議報告案に2ユニット一体運用の取り扱いやユニットケア施設管理者研修の努力義務化などが盛り込まれたことについて「大きな前進」と成果を強調した。

続いて議案審議に入り、岩手と静岡の支部長新任▽24年度の新規事業▽2施設(鹿児島、岩手)の新規入会に関する3議案を可決した。新規分も含めた事業計画としては①施設間の「相互視察事業」の創設を通じて会員拡大など25年8月の推進協創立20周年に向けた取り組みの推進②ユニットケアがどのくらい定着しているかを各施設が自己評価できる研修を新たに実施するなどユニットケア研修事業の推進③介護大学校分校の増加や介護教員向け特別研修の実施など推進協(株)による介護人材確保支援策――が挙げられた。これらは24年3月の理事会に24年度事業計画として正式提案される。

理事会に引き続いて理事懇談会が開かれた。理事から「ユニットリーダー研修を受けても施設管理者の意識が変わらないとリーダーが孤立しがち」「ユニット型とその他の特養とでは報酬上の違いを設けるべきではないか」といった意見が出され、懸上忠寿事務局長はユニットケアやユニットリーダー研修をさらに評価してもらう取り組みを強めていく考えを示した。

ズバリ回答！人事・労務のお悩み 職員に対する安全配慮義務違反の法人としての責任

【今月の相談内容】

介護職員が入社4カ月後に精神に不調をきたし休職しました。その職員は業務に不慣れなことがあるものの、複数の先輩職員から長時間にわたる厳しい叱責が行われていたようです。また、月に47時間程度の長時間労働があり、施設長は把握していなかったようです。このような場合、職員に対する法人としての安全配慮義務違反が認められるでしょうか。

【回答】

職員に対する安全配慮義務は、大きく健康を害することを予測できたかどうか(「予見可能性」)健康を害することの回避策はあったかどうか、その回避策を怠ったかどうか(「結果回避性」)にわたることができま。長時間労働については、上限45時間の労使協定が一般的ですので、まずは労基法違反の可能性が高いです。複数の先輩からの叱責や長時間労働については、法人と



推進協監事・特定
社会保険労務士
栗田淳二

して認識しうる状況であり、管理者が把握してなかったことは単なる怠慢ではすまないでしょう。よって、労基法違反、使用者責任違反、不法行為などにより安全配慮義務違反となる可能性は高いと思います。労災保険については、休業補償給付として労働災害から補償されるでしょうが、責任に対する補償である損害賠償の事件まで発展した場合は複雑なことになる可能性があります。基本的には、弁護士に相談される事象ですので、良いです。安全配慮義務というのは、実に幅がひろく、時代とともに変遷してきています。入居者などに対するそれとは別に、職員に対しても配慮する必要があります。安全配慮義務を尽くすことは、施設運営にとって、重要な経営活動課題であるといえます。

各種情報募集!

皆様からの様々な情報を募集しています。

例：県や市からの情報・その他

ご連絡はこちらまで
info@suishinkyo.net

事務局から

鏡開きによせて
皆さんの家は鏡餅が飾られていますか?

そもそも鏡餅とは、お正月にやってくる神様の居場所とされています。1月11日には鏡開きを行い、神様が宿っていたお餅を食べることでその力を授かり、1年の健康を願う意味があると言われています。

ここで1つ注意事項のご紹介!
▽知っておきたい、鏡開き注意事項

- ・お餅は残さず食べる
- ・包丁などで切らず、手で割り砕くか槌で開く
- ・皆さんはご存じでしたでしょうか?我が家の今年の鏡開きは、おしるこにすることにしました!皆さんも、お餅を食べて英気を養ってください。(井田)



(株) 推進協
新規
研修事業

一般職員向けのオンライン研修

**ユニットケア
基礎研修**

【プログラム】
13時~16時45分

【内容】
ユニットケアの理念と特徴他(GWあり)

ユニットリーダー研修と同じテキストを使用。同じ講師が担当いたします。

2023
年度

友共事業

共につくり、友に学ぼう、共に

**ユニット型施設
事例研究募集**

詳細はホームページにて

テーマは自由♪

募集期間：2024年3月31日まで

令和6年4月より、介護職員は年2回の虐待防止研修の受講が義務化されます。

厚労省 虐待防止研修対応

**虐待防止研修
(Eラーニング)**

1本1時間

Eラーニングなのでいつでも視聴可